

生き活きと輝き、誇れるまちの今をあなたに届ける

# 広 報 湯 前

Public  
Relations

Since1962.

<https://www.town.yunomae.lg.jp/>

[まちの情報誌ゆのまえ]

精一杯の、「ありがとう」

# 4

TheMonthly  
Apr\_2019  
Vol.454



特集「総合運動クラブ」

## 地域で育む心技体





## 受賞に恥じない 地域貢献を

湯前町B & G指導者会会長

**中園 誠二さん**  
(53=上里1)

指導者会の長年の活動が認められ、全国表彰を受賞できたことをとても光栄に思います。担当者の熱意と、指導者会の会員の積極的な活動への協力のおかげです。感謝しています。

本町には海はありませんが、平成21年に設立してから、子どもたちを健全に育てるために、カヌーなどの海洋レクリエーションの普及や自然を大切にするためのクリーンフェスティバルの開催、子ども会活動や各地区の夏休み活動の支援などを続けてきたことが評価されたのだと思います。

今回の表彰は今後の活動の大きな励みになります。指導者会の会員で一丸となり、より地域に貢献できるように、受賞に恥じない活動を続けていきたいです。

## 自然とふれあい、 湯前愛を育ててほしい

B & G全国指導者会副会長  
**工藤 陽平さん**  
(35=下城)



全国指導者会では、水辺での自然体験を各地で充実させ、個人のスキルアップや地域の活性化を目標に活動しています。住民の皆さんに協力してもらった取り組みが全国に認められたからこそ、私が副会長を務めることになりました。本町で開催してきた「水辺の安全教室」やカヌー、スタンドアップ・パドルボード体験など、これまでのノウハウを生かして活躍したいです。

全国の活動の中で、これからたくさんの人や物に出会い、先進的な知識や技術も学べます。子どもたちと地域の皆さんが水辺での活動を通じて、自助の意識を高め、自然にふれあうことで、より湯前を好きになってもらえるような取り組みにつなげたいです。



1

1 水辺の安全教室で、身近な物での浮き方を教える指導員



2

子どもを健全に育てようと平成21年に設立。カヌー、スタンドアップ・パドルボードなどの体験のサポートやプールを利用した水辺の安全教室など、年間約20日活動しています。海洋センター職員をはじめ、グリーンツーリズム、消防署員、福祉関係者、町内事業所の社員など会員は現在40人。だれでも入会でき、各地域で開催されるリーダー研修に参加すると資格を取得すること

もできます。今回、褒章を受けたのは全国5団体で、九州内では本町のみ。さまざまなメンバーが活動し、機会の恵まれない子どもたちに活動の場を提供するなど、その運営が評価されました。なお、総会で役員改選が行われ、副会長に本町海洋センターの工藤陽平さん(35=下城)が選任され、3年の任期で活動します。

### 指導者会の会員を募集します

カヌーや水辺の安全教室などを運営します。子どもと一緒に海洋スポーツの楽しさを体験しませんか？

- 対象者 どなたでも入会できます
- 活動時期 主に6～9月 ※年間約20日
- 入会費 1000円  
※入会者にはB & Gオリジナルグッズを進呈
- 申込方法 海洋センターにある申込書に記入
- お問い合わせ B&G 海洋センター ☎ 0966-43-4555



蓑谷ため池で子どもたちのカヌー体験をサポートする指導員たち。多種多様なメンバーが活動している

「B & G 指導員」は、カヌーや水遊びなどの水辺での体験活動を通して、地域づくりに貢献できる人材を育てようと昭和51年に始まった制度。各地域でカヌーなどの実技やライフジャケット着用指導などの研修を開催し、財団が受講者に資格を認定しています。同制度は環境教育の指導者を育てる功績が認められ、平成20年に環境大臣と国土交通大臣から「人材認定事業」に登録されました。指導者会は、全国397カ所、1万9千人の指導員が所属する国内最大の海洋レクリエーション指導者組織。総会は同財団が3年ごとに開催し、今回は過去最大となる604人が参加。事例発表や今後3年間の方針の決定が行われ、優れた実績を重ねた指導者会や指導員の表彰も行われました。

### 多種会員の活動を評価

本町の指導者会は、自然体験活動の楽しさを広め、地域の

安全教室で1分間のペットボトル浮きに挑戦する子ども



本町が表彰を受けた指導者会総会



# 水辺で学ぶ 郷土愛

特集2 B & G海洋センター指導者会

B&G財団の指導者組織「B&G全国指導者会」(会長=工藤祐直 青森県南部町長)は第4回総会を2月16日に東京都港区の笹川記念会館で開き、本町指導者会(中園誠二会長)が全国5団体のみに贈られる「指導者会褒賞」を受賞しました。



花束をくれた後輩に「ありがとう」。別れを惜しむ涙も、最後は笑顔に



我が子の晴れ姿をカメラに収める保護者

**湯前** 前小学校(菅原浩子ひろこ校長)の卒業式が3月20日に同校体育館で開かれ、卒業生29人が保護者や恩師への感謝の気持ちを胸に、中学校へと旅立ちました。

会場に設置された大型のスクリーンには、一人一人の顔写真と将来の夢が映され、児童はステージの上で、将来の夢を堂々と発表。菅原校長から卒業証書を受け取ったあと、ステージを下りて保護者の元へ向かい、証書を手渡しました。

菅原校長は「一生懸命頑張る姿が立派だった。たくさんの人に『ありがとう』が言える思いやりや感謝の心、あきらめず努力する心を中学校で身に付けて。湯前小で培った豊かな心に磨きをかけ、命を大切に輝いてほしい」とあいさつ。「門出の詩」では卒業生が6年間の思い出を発表し、保護者に「変わらぬ愛情で見守ってくれてありがとう。家族が大好きです、これからもよろしくお願いします」とお礼を伝え、教師、来賓の方に

### 湯前小学校卒業式

## 変わらぬ愛情、これからも



1 将来の夢を堂々と発表し、卒業証書を受け取る卒業生 2 教師や来賓にも体を向けて、感謝を伝えた

も体を向け、深々とお辞儀をして感謝を伝えました。

会場には一学年先輩となる湯前中学校の新2年生もかけつけて卒業を祝福。小学校の後輩たち一人一人のメッセージも飾られています。

## 湯前中学校卒業式

# 大好きな故郷を誇りに

故郷を誇りに、学び舎を巣立った卒業生たち



**湯前** 前保育園(東理絵園長)の卒園式が3月16日に開かれ、卒園児16人が慣れ親しんだ保育園に別れを告げて、新たなスタートを切りました。

卒園児が壇上になると、会場のスクリーンには一人ずつ園内での思い出の写真が映され、両親や兄弟から「のびのび育ってくれてうれしい。大好きだよ」「一緒に小学校で遊ぼうね」などと温かい音声メッセージが添えられました。

東園長から保育証書を受け取った園児は花道を歩いて家族の元へ。「大きくなったら野球選手になります。お母さん、お父さんありがとう」などと将来の夢と今までの感謝を

### 湯前保育園卒園式

## 大きな声で「ありがとう」

保育証書と一緒に感謝の気持ちを渡した園児たち



伝えて証書を手渡し、笑顔で抱き合ったり、ハイタッチを交わしたりして、喜び合っていました。

東園長は卒園児をヒマワリの花にたとえ「家族の愛情という栄養をいっぱい注がれて大きくなった。将来に向かって、一人一人違った、素敵なヒマワリの花を咲かせてほしい」とあいさつ。その後、卒園児は運動会や発表会など思い出を季節ごとに発表。会場中が驚くほど元気な歌声を響かせ、保育士たちも立派に成長した園児の姿に感動の涙を流していました。

**湯前** 前中学校(古家慎也校長)の第72回卒業式が3月10日に同校体育館で開かれ、卒業生38人が恩師や仲間との別れを涙ながらに惜しみました。

吹奏楽部の演奏が始まり、会場にかけつけた保護者、後輩らの拍手を受けて卒業生が入場。一人ずつ壇上に入り、担任の原口寛文ひろふみ教諭から名前を呼ばれると、大きな声で返事をし、古家校長から卒業証書を受け取りました。

古家校長は「伝統を受け継ぎ、学校を引っ張る姿は立派だった。湯前中の卒業生として送り出せることを誇りに思う。視野を広げ、世の中の人々に貢献することを喜びと

感じられる人生を送ってほしい」とエールを送りました。

門出の詩では、卒業生が、体育祭や文化祭、部活動など、3年間の思い出を発表。恩師や家族、後輩らに「ありがとう」と涙ながらに感謝の言葉を伝え、後輩も「今までありがとうございました」と涙を流し、別れを惜しみ合いました。

卒業生は「大好きな、湯前を誇りに、未来に、優しく、たくましく、力強く生きていきます」「湯前中で過ごした3年間は一生涯の宝物。38人、それぞれの花を咲かせます」とメッセージや歌で決意を新たに、後輩から一人一人花束を受け取って、3年通った学び舎を巣立ちました。



たくさんの人でにぎわった直売会



キラキラと輝く宝石のようなイチゴスイーツ 夢中でスイーツを食べる子ども



1 熊本生まれのイチゴなど3種類を販売 2 たくさんの人でにぎわう会場内



1 無線で災害本部に情報を伝えて行動する住民ら 2 避難所となった小学校体育館でテントを設営 3 各地から災害本部に入る無数の情報を学習 4 多くの住民が災害用発電機と照明の使い方を学習 5 湯前中学校では消防団が火事を想定した放水訓練を実施



No.2 ゆのまえ苺まつり

# 湯前イチゴ、スイーツ 完売続出



園児に負けじと軽快なバンド演奏で会場を盛り上げた保護者ら

2019 ゆのまえ苺まつりが3月17日、農村環境改善センターで開かれ、町特産イチゴの直売や絶品スイーツなどをめあてに、たくさんの方が来場し、にぎわっていました。

湯前イチゴのおいしさを町内外に広めようと、湯前町観光物産協会（上米良秀人会長）が主催し、ことしで9回目。直売会では、町内の生産者7戸が「さがほのか」、熊本県生まれの「熊紅」、新しい品種の「恋みのり」の3種類を1400パック用意し、店頭よりも安い値段で販売。開始直後から人が殺到し、約2時間半後の午後零時半には完売するほどの人気ぶりでした。



町内のイチゴ生産者を代表して鍋田九吾さん（66 上里1）が「さがほのかは甘味が強く女性に人気がある」「熊紅や恋実りは果肉がしつかりとしている」などと、奥球磨地域で生産するイチゴの種類や品種の特徴、保存方法、効能などを来場者に解説。先着200人には摘みだてイチゴの無料引換券が配られ、正午過ぎに引き渡されました。

かわいい笑顔とダンスで花を添えた慈光こども園の園児



防災の要となる災害本部を設置

湯前町防災訓練が2月24日、町一帯で行われ、各地区の住民や消防団、町職員らが、地震発生後3時間の行動を確認し、地域の防災力を高めました。

各地区では孤立集落を想定した徒歩での安否確認を行い、住民は玄関などの分かりやすい場所に「無事ですシール」を張って安否確認に協力。年輪館やレールウイング、城泉寺、湯前中学校では消防団がホースを連結して消火訓練を行いました。



No.1 湯前町防災訓練

# 発災後3時間の行動を確認



やさしく接したいと口をそろえて話す児童

## 湯前小で認知症サポーター養成講座 「優しく接したい」児童が病状学ぶ

湯前小学校(菅原浩子校長)の認知症サポーター養成講座が2月26日に同校で開かれ、5年生(新6年)36人が、認知症の知識を学んで、サポーターとなりました。

認知症を正しく理解してほしいと本町、社会福祉協議会、上球磨地域包括支援センター、ゆのまえ読み聞かせ「なずなの会」が協力。同支援センターの永瀆慶尚さん(38=浜川)が認知症の特徴を説明し、なずなの会が認知症の祖母と孫の物語を朗読しました。児童は班に分かれ、自分にできることについて話し合い「優しい声かけをする」「手伝う」「怒らない」などと意見を出していました。児童にはサポーターとなった証のオレンジリングが配られました。



町の魅力を詰め込んだパンフレットを寄贈

## 湯前町PR大使 パンフレット作成に感謝状

昨年11月に「湯前町PR大使」の委嘱を受けた湯前小学校6年生(新中学1年)6人が、3月18日に町役場を訪れ、作成したパンフレット25部を寄贈しました。

総合的な学習の時間に、29人の児童が「お店」「自然」「観光施設」「文化財」「イベント」の5つに分かれて取材し、編集。A4サイズの24頁にまとめ、フルカラーで発行しました。

代表者が鶴田正巳町長にパンフレットを手渡し、中村和弘教育長が一人一人に感謝状を手渡しました。永瀆尚大さん(浜川)は「町にどんな人気商品があるか分かった。これからは町をPRしていきたい」と話していました。パンフレットは町内の観光施設などに置かれる予定です。



一人一人模様の違うストラップに、みんな笑顔

## かぼちゃの家から卒業記念品 福を願う、フクロウのストラップ

地域活動支援センター「かぼちゃの家」(東明美施設長)の6人が3月14日に湯前小学校を訪れ、児童29人に卒業記念として手作りストラップを寄贈し、門出を祝いました。

同施設では身体・知的障がい者らが潮神社にちなんだ「おっばいストラップ」などの小物を手がけ、町内のイベントや施設で販売。毎年卒業生の幸福を願い、布・綿性で3センチほどの「フクロウ」のストラップを作成。卒業生への寄贈は15年間続けられています。施設長の東さんが「皆さんの未来が幸せであることを願っています。これからは頑張ってください」とエールを送り、代表の児童4人が「ありがとうございます」とお礼を伝えました。

## JAくまが学校給食にトマトを提供 特産のトマト、おいしいよ

JAくまのトマト部会(坂口秀一部会長)が、湯前小・中学生に地元産のトマトを食べてもらおうと、3月1日に湯前町学校給食共同調理場へ4キلو(20玉)を無償提供しました。

同部会では、会員が所属する本町、多良木町、あさぎり町、相良村から、毎年2町村ごとに、給食用としてトマトを提供し、本町への提供は2年ぶり。部会を代表して那須博幸さん(49=上村)が大玉トマト「ごほうび」などを贈呈しました。

提供されたトマトは、3月4日の給食でサラダとして児童生徒に振舞われました。那須さんは「子どもたちに、自分の住む地域に新鮮でおいしい農産物があることを知ってもらえたら」と話していました。



部会を代表してトマトを贈呈した那須さん

※写真は作業終了後に撮影した写真です

## 体育功労者表彰 全国大会出場の2選手を表彰

3月7日、本町の社会体育の発展に貢献したとして、森下将剛さん(18=野中田3)と福田龍之介さん(人吉高校3年=上村)に「湯前町体育協会功労者表彰」が贈られました。

表彰は、平成30年度にスポーツで活躍した選手を町体育協会が表彰するものです。二人は、昨年、人吉高校カヌー部として、熊本県高校総体に出場し、スプリント・カヤックフォアで1位となるなど活躍し、全国高等学校総合体育大会に出場。同協会の森下一富会長(66=馬場)から、それぞれ自宅で表彰を受けました。

福田さんは「こどもも全国大会に出場できるよう、昨年以上に頑張りたい」と話していました。



自宅の前で表彰を受けた森下将剛さん

## 自衛隊入隊予定者合同壮行会 陸自入隊の二人が決意表明

平成30年度人吉球磨地区自衛隊入隊予定者合同壮行会が3月9日にあさぎり町せきれい館で開かれ、4月から部隊に入隊する17人を家族や来賓ら120人が激励しました。

壮行会は自衛隊家族会人吉球磨地区連絡協議会(井上朋和会長)が主催し、管内10市町村が協賛。本町からは陸上自衛隊に入隊する山崎隼汰さん(18=上村)と池田昂史さん(24=上村)が出席しました。井上会長が激励し、鶴田正巳町長が二人に記念品を贈呈。山崎さんは「周りの人に感謝し、国民から信頼される自衛官になりたい」、池田さんは「日々努力して立派な自衛官になりたい」と力強く決意を表明し、会場から大きな拍手を受けました。



感謝と決意を述べた山崎さん

## 戸籍の窓

平成31年2月1日～2月28日

ご結婚おめでとう

- 小辻 智裕 (あさぎ町)
- 日岡 祥子 (瀬戸口)
- 濱崎 鋭士朗 (野中田3)
- 藤嶋 恭子 (福岡県)
- 榎原 雄一 (島根県)
- 西 智代 (馬場)

おたんじょうおめでとう

- 淵上 蓮 駿 (植木)

ご冥福をお祈りします

- 酒井 國男 (植木)
- 鶴田 サト (古城)
- 瀬谷 磯子 (上染田)
- 藤本 多喜夫 (中猪)
- 右田 久一 (浅鹿野)

香典返し

- 鶴田 秋男 (古城)
- 藤本 タツ子 (中猪)
- 小池 早苗 (野中田1)

## Dietary habits 管理栄養士だより

### 牛乳パックの押し寿司で花見

花見のシーズン。外で食べるお弁当は格別。お出掛け時に便利な、牛乳パックを使った押し寿司を紹介します。

#### ① 牛乳パックの一面を切り取る



#### ② ホッチキスで止める



③ 牛乳パックにラップを敷き、酢めしを詰める。切り取った牛乳パックの面を使い上から押す。次に、錦糸卵・えび・絹さやなどを飾り、ラップをかけ上からしっかり押す。食べる前に牛乳パックからラップごと取り出し、食べやすい大きさにカットする



管理栄養士 田中 朋子

## Health 保健師だより

### 体のためにも、お財布のためにも

集団健診の申し込み忘れはありませんか？

集団健診(5月8～10日予定)では、がん検診など、さまざまな検診を保健センターで受けることができます。申し込み忘れがあれば、お早めに保健センター(Tel.0966-43-4112)へご連絡ください。「特定健診(基本健診)」は、保険者が行いますので、湯前町国民健康保険に入っている人は、町の健診(集団健診か総合健診)の中で受診することになります。

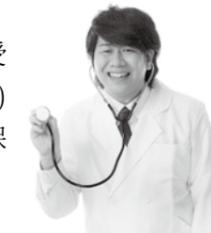
#### 特定健診とは

病気の発症、重症化を予防するための健診です。この健診を受けている人は受けていない人よりも医療費が少ないことが分かっています。元気であるため、お財布のためにも、ぜひ受診してください(通院中の人も年に一度は特定健診の受診をおすすめします)。

#### 特定健診の内容

問診、身長・体重測定、BMI、腹囲、血圧、尿糖、尿蛋白、診察、中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール、肝機能(GOT、GPT、γ-GTP)、空腹時血糖、貧血検査、心電図検査、尿潜血、血清クレアチニン、尿酸値、HbA1cなど、いろんな項目を含みます。

※集団健診に申し込んだ人に後日問診票などを配付します。日程は問診票に書かれた日時、もしくは旬報などでお知らせします。



保健センター 野々原 亜紀

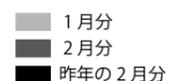
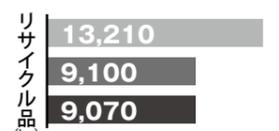
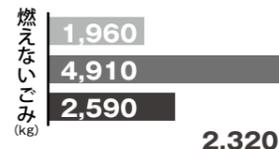
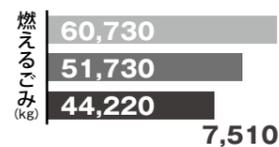
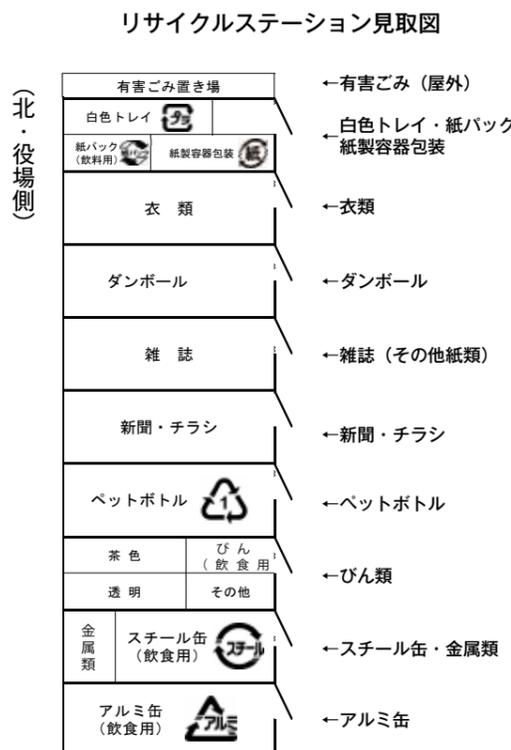
## Ecolog ごみ情報

### 資源ごみの置き場所やルールは扉の注意書きで確認

資源ごみはそれぞれ置く場所が決まっていますが、混同して出す人がいます。

ステーションの扉には各資源ごみの記載だけでなく、出し方についても貼り出しています。確認し、ルールを守って出してください。

※4月の不燃物収集は**3日、17日**です。(第1・3水曜日)



## Books 読書のススメ

中央公民館図書室 ※貸出期間2週間/一人5冊まで  
○平日 午前8時30分～午後5時 ○土日・祭日 午前9時30分～午後5時  
図書館委員会 TEL0966-43-2050



### 基礎から楽しく 基本の花づくり Lesson ブティック社

花づくり、ガーデニングの楽しみ方を基礎からやさしく解説。人気の草花、ハーブなど177種の育て方も分かる。植物を選ぶ、道具を用意する、植え付けから日常の手入れ、すべての実例に応じた草花の育て方レッスンを、Q&Aを交えて掲載。

### いまさら聞けない疑問を解決 これで失敗しない家庭菜園 Q&A 藤田 智(監修) 家の光協会

野菜づくりで誰しもが経験する栽培管理上の失敗や、いまさら聞けない素朴な疑問など…。家庭菜園歴40年の著者が、野菜づくりにまつわる疑問やトラブル解消法をQ&Aでやさしく解説。人気の野菜や新顔野菜など、約60品目の栽培プロセスもピンポイントで分かる。

### 隣の芝生は青い？ とんでもない 鈴木のりたけ(著)

僕って何の取り柄もない、という男の子。僕はサイのよりのような立派な皮がうらやましい。でも実はサイはウサギがうらやましくて…。それぞれの悩みを、ユーモラスに描く。

### 帰りたくなる、ほっとする おうち 中川ひろたか(著) 金の星社

人はおうちに帰る。なぜ帰るのだろうか。ごはんが食べられないからお風呂に入れないから？布団で眠れないから？犬やハトやミツバチもおうちに帰る。すごく不思議。おうちにいると安心する。おうちについて深く考える絵本。



地域婦人会  
会長 橋田 貴子

## 婦人会だより

気温の変化の激しいこのごろですが、ようやく本格的に春めいてきました。ことしは花粉の飛散が特に多いとか。しっかりと対策をしましょう。

### これから

2月10日(日) **青年団主催ミニサッカー大会で豚汁40食提供**  
参加者が大鍋二つを完食しました

2月24日(日) **青年団合同清掃奉仕**  
くま川鉄道沿線のごみを拾いました

3月 3日(日) **日本遺産めぐり**  
新宮寺(錦町)～青井阿蘇神社(人吉市)～石水寺(人吉市)へ。26人が参加し、青井神社では偶然「よさこいソーラン祭り」に遭遇。九州各県のよさこい踊りを見学しました

3月31日(日) **郡婦連総会 あさぎり町せきれい館 午前9時～**  
**福祉チャリティーショー // 午後1時30分～**

### これから

4月17日(水) **町婦人会総会 午前7時～**  
講演「生活習慣病予防について」 管理栄養士 田中朋子さん

4月19日(金) **湯前小学校交通安全教室**



福智町案内人の説明に聞き入る  
会員

### まちおこしの視察

観光案内人協会の研修に事務局として同行。2月13、14日に福岡県福智町と大分県豊後高田市へ行きました。両市町の景観は湯前と似ていましたが、観光や町おこしの取り組みが面白く、勉強になりました。豊後高田市では「昭和のまち」のテーマにみんなが協力的。商店街全体でのもてなしに感動しました。湯前を盛り上げるため、まだまだ協会の会員を募集しています。気になった人はこちらまで(Tel.080-5274-4000)。

### 幸野ダムの水が減るとそこから、、、



普段見られない新鮮な光景

2月末、整備で幸野ダムの水が抜かれるという情報を受け、すぐ見に行きました。近所に住む那須春美さん(79=浜川)に、子どものころ学校に行くために使っていたつり橋の跡や昔の幸野溝の跡など、たくさん説明してもらいました。普段見られない湯前の歴史に感動。この地には、古き良き歴史がまだまだ残っているのだろうなとしみじみ感じた一日でした。



リポーター  
椎葉 賢也

### 協力隊のゆのまえ暮らし (隊員がゆる～く近況報告)

最近のマイブームは白菜のサラダ。夏にやせ、冬でたくさん脂肪を蓄えたので、春からスリム作戦をのんびり実行中です。白菜を食べ始めてから、お通じが良くなりびつくり。でも、ごまダレのかけすぎに注意ですね…。



### App

### スマホで広報湯前

アプリ「マチイロ」を使うと、スマートフォンでも広報湯前が読みやすくなります。下のQRコードからダウンロードして簡単な登録を済ませるだけです。



※アプリのダウンロードや登録は無料ですが、通信料は利用者の負担です  
※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に本町は一切責任を負いません

### Front Page

### 今月の表紙

湯前保育園の卒園式では、園長から保育証書を受け取った園児が保護者の元へ向かい、その証書を手渡します。将来の夢と両親への感謝を大きな声で伝え、母親も涙まじりにとびきりの笑顔で、我が子の成長を祝福していました。



### 編集後記

▼総合運動クラブに参加する児童は、次の開催が待てないほど運動が好きそうでした。好きだからこそ、進んで考え、練習する。このクラブに参加する児童は、将来どんなスポーツを選んでも伸びていくような気がします。

▼毎まつりの直売会は過去最高の人出。やはりイチゴという果物の人気ぶりは絶大です。私の最近のお気に入りには熊本生まれの「熊紅」。上品な酸味と甘みのコラボレーション。祭りでは3種類のイチゴを食べ比べることができました。おいしいイチゴがある湯前に住んでいることは、他の地域の人にとってうらやましいことなのかもしれません。

▼春を代表する「桜」が各地で咲き始めています。皆さんは知っているか、湯菜里の下に咲く、早咲きの桜を。ほかの花はまだ咲きもしないうちに満開になる桜が一本だけあります。はなびらを見て、特にほかの桜と変わらないうえですが、日当たりのせいでしようか…。個人的に湯前七不思議に認定します。

(左)

### Events

## 4月28日(日) ゆのまえ潮おっぱい祭り

#### ①安産等合同祈願式

申し込み先着20人(組)に、記念品を贈呈します。

- 時 間 午前9時45分～
- 場 所 潮神社
- 申込方法 実行委員会事務局へ電話

#### ②ステージイベント

- 時 間 午前10時～
- 場 所 ゆのまえグリーンパレス芝生広場  
※雨天決行

#### ③出店者募集

会場内の出店は、町内在住者に限ります。

- 申込期限 4月8日(月)
- 出店料 1000円
- テント料 400円(希望者のみ)
- 申込方法 事務局にある出店申込書を提出

#### ④協賛金への協力をお願いします

祭りは、町民、地元企業・団体の皆さんの協賛金で運営しています。ご協力をお願いします。

- 金 額 1口500円～
- ご芳名掲示 祭り会場内に掲示
- 申込方法 実行委員会事務局にある協賛金申込書に、協賛金を添えて提出

#### ⑤全日本おっぱい(牛乳)早飲み選手権・赤ちゃんハイハイ競争の参加申し込みは、事務局まで



お問い合わせ・申し込み 実行委員会事務局(湯前町商工会内) Tel.0966-43-3333

平成28年4月1日付で就任した中村和弘教育長(63 相良村出身)が1期3年で任期満了となり、同31年3月31日付で退任しました。中村教育長は教職員として36年勤務し、平成19年から3年間湯前小学校の校長に就任。教頭7年、校長11年、指導主事4年など、豊富な経験を生かし、教育長として小中学校の連携強化やコミュニティ・スクールの導入など児童生徒の学習環境の整備に尽力しました。



3月定例会議であいさつを述べる中村教育長

### ごあいさつ

1期3年間の任期を全うできたこと、素晴らしい町の教育に、教育長としてかわらせていただいたことに、ただただ感謝申し上げる次第です。「一年の計は田を耕すにあり、十年の計は木を植えるにあり、百年の計は人を養うにあり」という言葉があります。これからの時代は、特に人材育成が重要です。

各方面からの温かなご支援もあり、小中学校のICT(情報通信技術)機器の充実、特別支援教育支援員の増員、空調設備の充実など、学校の学習環境が整備でき、たくさんの児童生徒の笑顔や前向きな姿勢に出会うことができました。

「地域とともにある学校」を目指して、義務教育9年間を見据えた小中連携の強化、コミュニティ・スクールの導入、小学校部活動の社会体育への移行など、計画的に本町の学校教育を推進してきました。町民の皆様には、常に前向きに背中を押していただき、たくさんの笑顔で接していただいたことで、大きな力をもらいました。湯前の子どもたちの今後の成長と活躍を心から祈念するとともに、町民の皆様のご健勝とご多幸を祈念しています。ありがとうございました。

湯前町教育長 中村 和弘

中村教育長が  
任期満了で退任

## 子どももの学習 環境整備に尽力

## Town News

元東京藝術大学大学院生の中尾綾子さん(29=福岡県出身)が2年前に模刻\*した、城泉寺の勢至菩薩立像が3月18日から5月中旬まで、城泉寺阿弥陀堂で展示され、初日には中尾さんが住民ら30人に制作技法を説明しました。

## 城泉寺で 模刻像展示

制作者が  
技法を解説



参加者に制作の技法や、自身の思いを語る中尾さん



5月中旬まで城泉寺で展示される模刻像

中尾さんは当時、文化財の保存・修復彫刻を専攻し、卒業制作として同像を模刻。町内に3週間滞在するなど、1年をかけて調査・制作しました。本物と同じように鎌倉時代の技法で再現しようと、やすりを一切使わず、数百の彫刻刀を駆使して細かな凹凸まで表現。像は高さ107センチで材質は木曾産のヒノキ。三次元で計測し、本物との誤差は2ミリ以下に抑えられています。

同18日には、中尾さんが、像の頭や腕など各部材を取り外しながら、「後から作業しやすいうように、パーツが分かれている。衣の表現も複雑」などと制作技法を紹介。4月から佛像の修復・保存の専門会社に就職するという中尾さんは「町の皆さんに披露できてうれしい。優れた仏像を修復するために、この制作した経験を生かしていきたい」と話していました。

\*本物そっくりに彫刻すること